

新十津川

新十津川町ルートマップ

新十津川縦断ルート

JR札沼線(学園都市線)の終着駅で知られる新十津川町は、少し歩くとのどかな風景が広がる田園都市。豊かな自然や開拓の歴史に触れながら、まちの名所を巡ります。

Footpath Information ルート情報

| | |
|---------|-----------------------------|
| スタート | JR新十津川駅 |
| ゴール | 新十津川町役場 |
| 距離/所要時間 | 約12.8km/約3時間30分 |
| 休憩所/トイレ | ふるさと公園、グリーンパークしんとつかわ、物産館 ほか |
| 駐車場 | ふるさと公園、新十津川町役場 ほか |
| 利用可能期間 | 通年 |
| 問合せ | 新十津川町産業振興課 電話 0125-76-2134 |

Information Icon ルート記号

- 花を見ることが出来るスポット
- 景色がよく、写真を撮るのに最適な場所
- 温泉施設がある場所
- ハチやブヨに注意が必要・立ち入りが危険な場所
- トイレ コンビニ 駐車場 バス停
- 高等学校 小・中学校 病院
- 郵便局 村・町役場 神社 寺

●秩父別町フットパス/難易度目安

新十津川町のルートは上り坂もありますが比較的平坦で歩きやすい

●アドバイスと注意点

市街地を縦断するルートなので、公園以外はすべて舗装道路。高低差もほとんどないので、少し長めの距離ですが快適に歩くことができます。ふるさと公園まで距離があるので、スタート時に飲料水を忘れず準備しましょう。

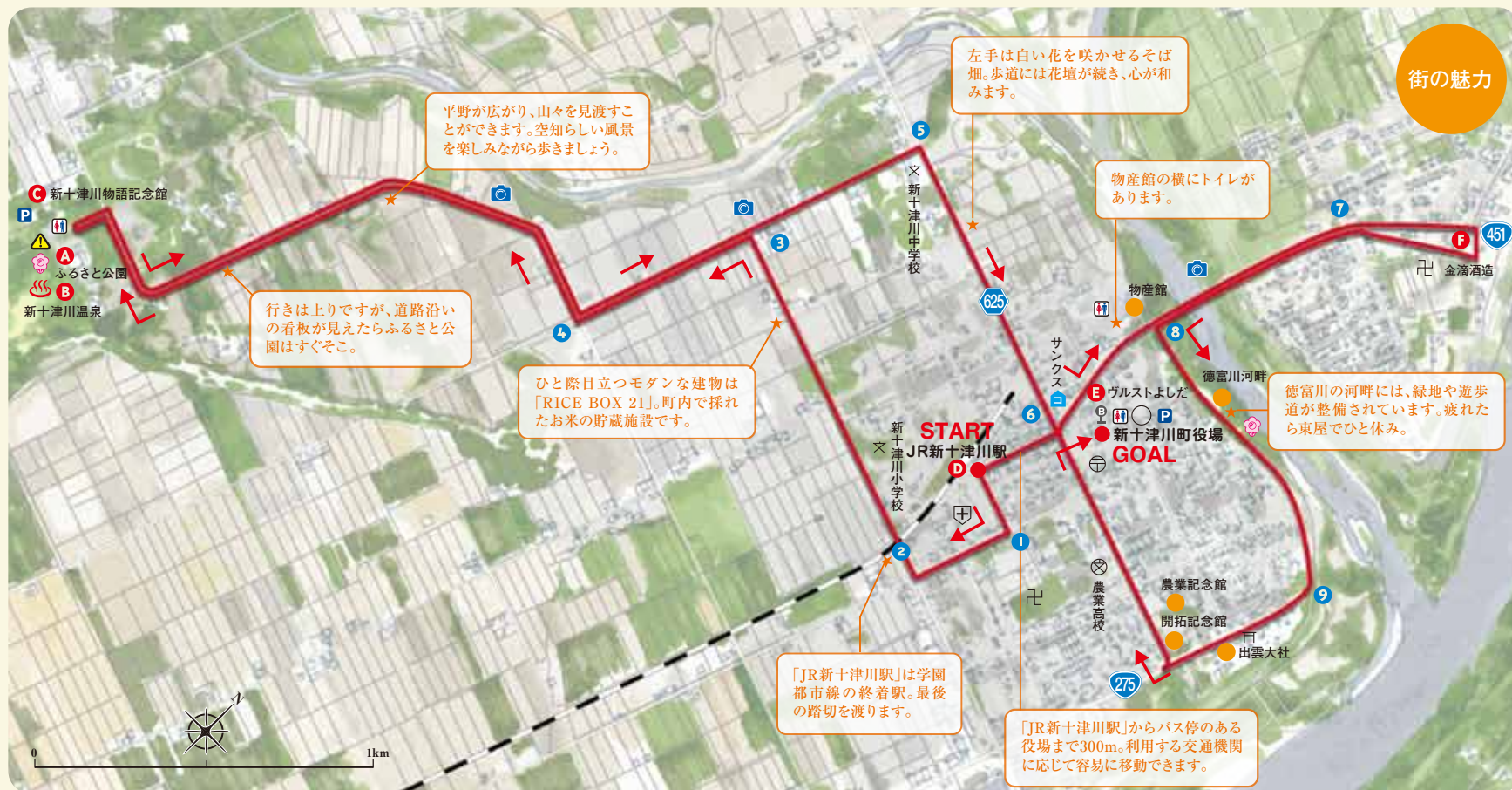
アクセス&インフォメーション

■公共交通

JR札幌駅からJR滝川駅まで特急で約50分、滝川駅バスターミナルから中央バス滝新線に乗換、「新十津川町役場」まで約15分、下車JR新十津川駅まで徒歩約5分
JR旭川駅からJR滝川駅まで特急で約30分、滝川駅バスターミナルから中央バス滝新線に乗換、「新十津川町役場」まで約15分、下車JR新十津川駅まで徒歩約5分
札幌駅前バスターミナルから中央バス「高速しんとつかわ号」で「新十津川町役場」まで約1時間40分、下車JR新十津川駅まで徒歩約5分

■自動車利用

札幌から道央自動車道滝川IC経由で約1時間20分
旭川から道央自動車道滝川IC経由で約50分
[交通の問合せ先]
JR滝川駅 電話 0125-23-3169
北海道中央バス札幌ターミナル 電話 011-231-0500
北海道中央バス滝川ターミナル 電話 0125-24-7191



Footpath Route

ピンネシリ麓に広がる田園都市の魅力を探る

石狩川の右岸に位置し、名峰「ピンネシリ」に抱かれる新十津川町は、古くからコメづくりが盛んなまちです。明治22年、奈良県十津川郷(現在の十津川村)を襲った豪雨によって、家や田畑を押し流された人々が新天地を求めて移住。故郷の名を残し「新十津川」と名付けられました。また、「JR学園都市線」の最終駅があるまちとしても知られ、多くの鉄道ファンが訪れます。今回のフットパスでは、その駅を起点にまちの名所を巡るルートをご紹介します。



1 スタートはノスタルジックな雰囲気のある「JR新十津川駅」。駅を背に「空知中央病院」の前を直進し、「止まれ」のあるT字路を右折します。
2 点滅信号がある交差点に差し掛かると右折し、そのまま直進。周囲には、ちらほらと水田が見え始めます。
3 踏切を渡り、南4号線をさらに直進。お米の貯蔵施設「RICE BOX 21」の前を過ぎ、突きあたりのT字路を左折します。
4 両側に広がるのどかな田園風景を眺めながら歩くと、標識や看板のある十字路に差し掛かります。右折して「ふるさと公園」方面へ。
5 「ふるさと公園」からの帰りは、しばらく道なりに直進。右手に中学校があるT字路を右折し、市街地へ向かいます。
6 踏切を渡り、南4号線をさらに直進。お米の貯蔵施設「RICE BOX 21」の前を過ぎ、突きあたりのT字路を左折します。
7 両側に広がるのどかな田園風景を眺めながら歩くと、標識や看板のある十字路に差し掛かります。右折して「ふるさと公園」方面へ。
8 帰りは、徳富川を越えてすぐ左手の遊歩道へ、曲がってすぐに見えるユニークな建物は「総合健康福祉センターゆめりあ」です。
9 川沿いに続く遊歩道は2コース。合流地点に差し掛かると右折し、「出雲大社」へ向かいます。農業高校を過ぎたら、まもなくゴール!

Footpath Area

A ふるさと公園

市街地から田園地帯を経由し、到着するビッグスケールの公園がこちら。広大な敷地には、天然温泉の保養施設「グリーンパークしんとつかわ」をはじめ、パークゴルフ場やテニスコート、温水プールなどのスポーツ施設、コテージやキャンプ場などさまざまな施設が点在。まちの歴史を辿ることができる「新十津川物語記念館」や「文化伝習館」、道内最大の登り窯を持つ「屯田陶房」があり、文化やアートに触れることも。疲れをいやしたり、食事を楽しんだり、緑を眺めながらくつろいだり...思い思いの時間を過ごせる場所です。

■住所/新十津川町総進188

B 新十津川温泉

大きな窓からたっぷり光が注ぐ開放的な大浴場は、大中小3つの浴槽やジャグジ、サウナを完備し、脱衣所は女性に嬉しいアメニティも充実。源泉かけ流しの温泉を存分に満喫することができます。館内のレストランでは、地元のそば粉を使った手打ちそばや、隣町・滝川市の名産でもある合鴨料理など空知ならではのメニューを味わえます。もちろんお米は美味しいと評判の新十津川産!

■住所/新十津川町総進188-6 (ふるさと公園内)
■電話/0125-76-2995
■時間/10:00~16:00
■定休/無
■料金/140円
■期間/4月29日~10月31日

C 新十津川物語記念館

未曾有の被害に襲われた「奈良県十津川村郷」の人々が、新天地を求めて移住したことから誕生した新十津川町。その当時の人々の生きざまや苦悩の数は、川村たかし氏による文芸作品「新十津川物語」に描かれた後、テレビドラマとなり全国に感動を与えました。館内には、町内で行われた撮影の様子や著者の作品などが展示され、ドラマのダイジェスト版も見ることができます。

■住所/新十津川町中央

D JR札沼線(学園都市線) JR新十津川駅

「札沼線」の由来は、かつてここから約35km先にある石狩沼田駅まで線路が続き、札幌と石狩沼田を結ぶ路線であったため。沿線に大学があることから「学園都市線」という名称で呼ばれています。昭和47年、ここから以北の線路が外され、新十津川駅が終着駅となりました。現在、札幌~新十津川間は1日3往復で、石狩沼田駅での乗換えが必要。秋になるとコスモスの花に埋め尽くされ、ひっそりと佇む無人駅舎はノスタルジックな雰囲気満点。鉄道ファン必見の終着駅です。

■住所/新十津川町中央

E ヴルストよしだ

本場ドイツの製法で、時間をかけて手作りするハム・ソーセージの専門店。道産の豚肉、ハーブやスパイスなど素材にこだわり、本場さながらの美味しさを楽しむことができます。季節限定の商品やパテも美味しいと評判。

■住所/新十津川町中央6-99
■電話/0125-72-2525
■時間/10:00~19:00
■定休/月曜(祝日の場合は翌日)

F 金滴酒造

創業は明治39年。ピンネシリ山系に源を発する伏流水と、地元で採れる酒造好適米から生まれるお酒は、芳醇でまろやかな味特徴。毎年9月に行われる「酒蔵まつり」では、さまざまな種類の日本酒を無料で試飲でき、地元野菜や特産品も販売。多くの人で賑わう秋の恒例行事となっています。

■住所/新十津川町字中央71-7
■電話/0125-76-2341
■時間/9:00~17:00
■定休/土・日・祝日

周辺のみどころ



●物産館「食路楽館(くじらかん)」

建物の上にクジラがいるお土産屋&レストラン。昭和59年、町内を流れる川でクジラの化石が発見されたことから「食路楽館(くじらかん)」と名付けられました。館内には大きなクジラのレプリカも展示されています。売店では、まちの名産品に加え、奈良漬や三輪素麺など「奈良県十津川村」の特産品もずらり。バラエティ豊かなメニューをお手頃価格で味わえるレストラン「くじら」では、「奈良県十津川村のそめん」を卯とじにした「とりめん」や名物のおにぎり「めはり」など、十津川村の郷土料理も提供。開拓の歴史を経験から「母なる村」として交流を重ねている「奈良県十津川村」への思いが伝わってきます。

■住所/新十津川町中央1-1
■電話/0125-76-2622
■時間/10:00~16:00(金曜は~13:00)
■定休/月・火曜(11月~4月は休館)
■料金/入館料140円
■駐車場/有

●開拓記念館

まちの歴史を多くの人々に伝えるため、開拓90年を記念して建設された記念館。「奈良県十津川村郷」から新天地を求め、移住した人々の手によって誕生した新十津川町の開拓から現在までの歴史や、先人らの望郷の思いを知ることができます。駐車場の脇からは遊歩道もあり、開拓記念館の正面を經由し、中央公園へ抜けることができます。

■住所/新十津川町中央5-1
■電話/0125-76-3141
■時間/売店10:00~17:30(11~2月は~16:00)、レストラン10:30~17:25(11~2月は~15:55)
■定休/年末年始
■駐車場/有

●農業記念館

開拓記念館に隣接するモダンなレンガ造りの建物は、大正10年に建てられた「新十津川信用購買組合」の当時の建物を復元したもの。農業にまつわる歴史やこれからの農業をテーマにしたさまざまな展示物を見ることができ、内部の見学は、開拓記念館受付へ予め申し出を。

■住所/新十津川町中央32-9
■電話/0125-76-2547

●お土産

地酒やゆず、あずきなど12種類が揃う手作りアイスやお菓子、手延べめりなど物産館にはバラエティ豊かな商品が揃います。

■住所/新十津川町中央32-9
■電話/0125-76-2547

●出雲大社

堂々とした鳥居が風格を漂わせるこちらは、「大国主大神(大黒様)」が祀られ、縁結びや福の神として親しまれている鳥根県出雲市「出雲大社」の分院。隣接する公園には、開拓時代の功労者を合祀した忠魂碑が建立されています。

■住所/新十津川町中央32-9
■電話/0125-76-2547

●農産物

地酒やゆず、あずきなど12種類が揃う手作りアイスやお菓子、手延べめりなど物産館にはバラエティ豊かな商品が揃います。

■住所/新十津川町中央32-9
■電話/0125-76-2547

●地酒・金滴

地元で生産された酒米「吟風」から作られる地酒はお土産にぴったり。まちを代表する特産品として愛されています。

■住所/新十津川町中央32-9
■電話/0125-76-2547

Event

- 陶芸まつり [6月中旬]
全道各地の陶芸家が一堂に会し、自慢の作品を展示販売。実際に土に触れてつくることのできる体験コーナーや、陶芸家による創作実演もあり、例年多くの陶芸ファンで賑わいます。
- ピンネシリ登山マラソン [7月上旬]
「ピンネシリ」の絶景から山頂まで往復する42kmは、高低差が1,000mを超える過酷なコースとして有名。5合目を折り返す30km、スキー場を折り返す15kmなどで約300名が健脚を競います。
- 味覚まつり [10月上旬]
いも煮粥や手打ちそば、米コロッケなど、新十津川町ならではの美味しさを満喫できる秋恒例のイベントです。地元で採れる野菜が企画から販売までを行う出店やお楽しみ抽選会にも注目!
- ふるさとまつり [7月下旬]
夏の訪れを告げるイベントは、見るだけで手に汗握る「泥(デイ)ブリッジ選手権」や100年以上の歴史を持つ獅子神楽、牛の丸焼き、花火大会など内容も盛りだくさん。地元野菜や特産品の出店も人気です。
- 雪まつり [1月下旬]
身体が温まるさまざまな冬鍋をアロケイ味で楽しむ「冬鍋大会」や中華鍋に座って乗り相撲を取る選手権など、寒さを吹き飛ばすイベントが目白押し。冬の日を楽しんで過ごすこと間違いなし。

■問合せ/電話 0125-76-2134(新十津川町観光協会) 45